

ゑりちよ、やり、かむちへ
又阿が、なさへきよ、

み、まぶてま、おれたれ

(七四) あおりやへがふし

一きこゑさすかさが、

あんどおそいよ、ほこて、

あける、とし、たゝかま、

きみく、てづて、ふさよむれ

又とよむ大ぎみが、

たゝみきよ、く、ほこて

又きらのかま、おれむちへ、

きみてづり、まどうさ

又ゑかのかま、おれむちへ、

かみつかへ、まどうさ

又だよ、みどせ、なるぎやめ、
げよ、四どせ、なるぎやめ、

(七五) おしかけかふし

一きこゑ大ぎみぎや、

けおの内え、おしあけて、

くもこまへ、

あぢおそいよ、みおやせ

又とよむくよおそいが、

もちろ、うちえ、おしあけて

又えよりもりおれむちへ

又まだまもりおれむちへ

又ゑか、ゑらびやり、おれむちへ

又きら、ゑらびやり、おれむちへ

又あぢおそいちよ、

あまこ、やりかむちへ

(七六) おしかけがふし

一きこる大きみぎや、

みしま、いのり、おれむちへ、

あぢおそいしゆ、

かみが、世、ちよむれ

又ごよむせだかこが、みくよ

又げらへ、大ころた、

あんじおそいよ、よしられ

又かい、なで、まころこた、

たゝみきよよ、のたてれ

又あんじおそいが、おこと、

きみくゝと、つかい

又たゝみきよが、ゑりちよ、

ぬしゝと、つかい

又けよ、よせと、あおらちへ

やゝめづら、あおらちへ

又いけな、きみ、たてゝ

なりきよ、さな、たてゝ

又あかぐちやが、よいつき、

てだかこち、よそいて

(七七)

一やよやそれ、ゑ、おい、ち

よろめへ、ゑい、やうら、

やうら、やうらへ、

ゑおい、やうら、やうら、

やうら、あゑ、おい、やうら、

やうら、やうら、ゑおい、

やうらや、うらや、うら、

あゑい、ゑおい、

又やよやそれ、ゑおい、ち

よろめへ、ゑい、やうら、

やうら、やうら、ゑおい、

やうら、やうら、ゑおい、

やうら、やうら、やうら、

あゑい、ゑおい、

又やよや、それ、ゑおい、ちよ

るめい、ゑい、やうらや、やうら、

やうら、ゑおい、やうら、

やうら、やうら、ゑおい、

やうら、やうら、やうら、

あゑい、ゑおい、

(七八)

一ちやむかねやむこ

ゑけりやのちやむこ

えひやよえひやよ

又だよもこもて

げよもこもて

又たまもたちや事

としゆもたちやこと

又たまもちよげて

みしゆもちよげて

又さくくさもこの

よりてさもこの

(七九)

一きしやをつくりきよ
きしやをおなりしや

ゑけとひ

又よべ、みちやる、いめの、

まよ、なかの、いめの

又いめや、あどなものの、

いめや、うせな、もの

又おなり、だちへ、ごもて、

つくり、だちへ、ごもて

(八〇) あがおなりかみのふじ

一あられ、なの、どりの、

くちなりの、どりの、

ゑけ、こいの

又のう、みちへる、おひきよか、

いきや、みちへり、おひ、きよる

又きみ、みちへる、おひ、きよれ、

ぬし、みちへる、おひ、きよれ

尙元王御世(尙元は尙清の誤)

★ 嘉靖廿八年己酉のとしきみてつりのも、かほうごこの時
よ十月廿一日ひのどのみのへよきこゑ大きみのと御まへ
より給申候

(八一)

一きこゑ大きみぎや、

おぼつ、せぢ、おろちへ、

あぢおそいよ、みまぶて、

きみくや、おぼつ、より、かゑら

又とよむせたかこが、

(か)ぐらせち、おろちへ

又きこゑあんどおそいや、

きみよ、ほこりよとちへ

又とよむ、とちよせが、

かみ、このみ、まよとちへ

又よか、なんか、あまて、

あまこ、あまちへ、からと

又ゑか、なんか、あまて、

みきやう、あまちへ、からと

又きみくむ、ほこて、

みもん、あまび、めづらしや

尙元王御代(同上)

嘉靖廿八年巳酉のとしきみてつりのもくかほうことの時
よ十月十三日つちのどのどりのへのうまの時よきみがな
しのみ御まへより給申候

(八二) (あおりやへがふし)

一きこゑきみがなし、

さしふ、おれかて、

まよりもり、おれとちへ、

なさいきよもいまよ、

きみふさて、ちよとれ

又とよむきみがなし、

むつきおれなおちへ、

まだまもりおりとちへ

又なさいきよもい、あちおそい、

み、まぶて、おれたれ

又あが、かいなで、あぢおそい、
 かいなでては、おれたれ
 又てるかえは、のたて、
 せへどめて、おれむちへ
 又てるしのと、のたて、
 ませどめて、おれむちへ
 又なさいきよもい、あぢおそい
 せよりもりちよむちへ、
 大きみよ、せなむ

(八三) きみがなしふし

一きこゑきみがなし、
 いけな、なりかむて、
 せより、おれむちへ、
 なさいきよもいよ、

せまが、いのち、みおやせ
 又とよむきみがなし、
 なりきよ、おれかむちへ、
 まだまもり、おれむちへ
 又さしふ五ころよ、
 せへどめて、おれむちへ
 又むつき五ころよ、
 みまぶては、おれたれ
 又なさいきよもい、あぢおそい、
 およりとて、おれむちへ
 又あが、かいなで、あぢおそい、
 みまぶては、おれたれ
 又てるかえがうざしせゆ、
 此きらよ、おれむちへ

尙永王御代

萬曆六年戊寅きみてつりのもゝかほうことの時よ十月十五日みつのごのみのへよきこへ大きみのみ御まへあおりやへのみおまへより給申候

(八四) あおりやへがふし

一きこゑ大きみぎや、
まへゑらびやり、おれむちへ、
あんどおそい玄ゆ、
きみほこて、ちよむれ
又とよむせたかこが、
ませ、ねかて、おれむちへ
又いけな、きみ、よりおろちへ
又なりきよ、きみ、つきおろちへ
又きみくむ、ほこて

又かみくむ、ほこて
又あが、まぶる、あちおそい、
てよ(が)下、
いごかけて、ちよむれ

(八五)

一きこゑあおりやへや、
せちまさて、おれむちへ、
世もつせぢ、
あちおそいよ、みおやせ
又とよむくよもりや、
けおそむて、おれむちへ
又さしふ、なおさ、とりよむちへ、
おぼつ、たけ、おきつめ
又さら、なおさ、とりよむちへ、

校訂おもしろさうし

かぐら、たけ、おきつめ

又きみてつり、めづらしや、

せぢまさて、おれむちへ

又みもの、あまび、めづらしや、

せぢまさて、おれむちへ

又あぢおそいや、いみや、からど、

せぢまさて、ちよむや

尙永王御代

萬曆六年戊寅のとしきみてつりのもゝかほうここの時よ
十月十九日ひのどのとりのへよさをかさのみ御まへえよ
り大きみの御まへより給申候

(八六)

一きこゑさをかさが、

まへどめて、おれむちへ、

きらのかぢ、

あぢおそいまぶら

又とよむ大きみぎや、

ませ、ねがて、おれむちへ

又きこゑ大きみぢよ、

とこゑ、やり(かむちへ)

又とよむせたかこと、

ゑりちよ、やりかむちへ

ア、又トアリテ前ノツキナリ
一あぢおそいと、

ともゝまへ、

きみふさて、ちよむれ

(八七)

校訂おもしろさうし
又レヨリ別おもしろナルベシ
又去より大きみぎや、

さしふ、ゑらで、おれむちへ、

島が命

あちおそいよ、みおやせ

又とよむくよおそいぎや、

さしふ、おれなおちへ

又おぼつゑか、とりよむちへ、

去よりもりおれむちへ

又かぐら、きらなおちへ、

まだまもり、おれむちへ

又いみやからど、あちおそいや

てもこ、いろ、

てりや、あがて、ちよむる

尙永王御代

萬曆十五年丁亥のとしきみてつりのもゝかほうことの時
よ十月十八日みづのどのどりのへのさるの時せんきみの
み御まへより給申候

(八八)

一きこゑせんきみぎや、

なりきよ、おれふさて、

なさいきよもい、むうよせ、

せおまさて、ちよむれ

又とよむきみ、とよみが、

いけな、おれなおちへ

又みものうちの、まみやよ、

あまで、なおちへ、からと

又かむるめの、まみやよ、

ほこて、なおちへ、からと

又さしふ五ころよ、

おれなおちへからえ

又むつき七ころよ、

みまぶては、おれたれ

又去よりもり、ちよむる、

あが、なさいきよ、むうよせ

はへながく、

せぢまさて、ちよむれ

又まだまもり、ちよむる、

あがなさいきよ、むうよせ、

はへながく、

せぢまさて、ちよむれ

尙寧王がなし御代

萬曆三十五年丁未のとしきみてつりのもゝかほうことこの

時よ十月十日つちのどのみのへのうしの時よきころ大ぎ
みのみ御まへより給申候

(八九) (あおりやへがふし)

一きころ大ぎみぎや、

さしふ、おれなおちへ、

あちおそいしよ、

ともゝはゑ、

はへまさて、ちよむれ

又どよむせたかこが、

むつきおれふさて

又いけな、きみ、あどへて、

なりきよ、そろへて

又あんじおそいぎや、おこと

むうよせが、おこと

又とし八とせ、なるぎやめ、
 ゑか、八とせなる、ぎやめ
 又きみてつり、まどうさ、
 みものあまび、まどうさ
 又大ころた、あとへて、
 もりやへこた、そろへて
 又きみ、いきよい、げよ、あれ、
 かみ、つかい、だよ、あれ
 又あかてちやり、よいつき、
 てだ、りみたち、とよで
 又てるかえむ、ほこて、
 いちろこむ、ほこて

(九〇)

一大きみぎや、まぶる、

てだがをへ、あぢおそい、
 天ぎや下、

をへまさて、ちよとれ
 又せだかこが、みまぶる、
 をへまさる、むうよせ
 又おぎも、うちの、御さうせや、
 あけどまよ、たごへて
 又あよが、うちの、おさうせや、
 あけたちよ、たごへて
 又きみぎや、世ねん、げらへて、
 ぬしぎや、世ねん、げらへて
 又てもこ、とし、かけむちへ、
 みもの、とし、かけむちへ
 又うらおそいよ、ちよとれちへ、
 世のつちよ、ちよとれちへ

(一一)モ、けよ
 けよ

又いへの、いのり、めしよ_レ也ちへ
 つかさ、いのり、めしよ_レ也ちへ
 又つかさ、かま、ほこり、よ_レ也ちへ
 あぬしかま、ほこりよ_レ也ちへ
 又てるか_レむ、ほこり、よ_レ也ちへ、
 いちろこむ、ほこり、よ_レ也ちへ

(九一)

一きこ_レるあおりやへや、
 きみぎやまへ、おれ_レ也ちへ、
 あちおそいよ、
 おぼつ、とよむ、
 きみ、ぎや、せち、みおやせ
 又とよむくよもりや、
 ませねがておれ_レ也ちへ

又てだが_レもへあちおそい、
 也へまさる、_レ也うよせ
 又おぼつせち、あらぎやめ、
 きみぎやせち、あらぎやめ
 又天ぎや_レた、おそて、
 也よりもりふさよ_レ也

尙寧王かなし御代

萬曆三十五年丁未のとしきみてつりのも_レかほうことこの
 時_レ十月十五日_{丁未}みづのとのどりのへのうしの時よ_レさまか
 さのみ御まへ_レ也より大きみのみ御まへせんきみのみ御前
 より給申候

(九二)

一きこ_レるさまかさが、

(一)モ、世お
そふ云心

四の五八

校訂おもしろさうし

さしふ、おれか見て、
ともゝどの、世^(二)そう、せぢ、
あぢおそいよ、みおやせ
又ごよむさすかさが、
むつきおれなおちへ
又けおのうちと、おしあけて、
又より^(一)もりおれむちへ
又もちろうちと、つきあけて
まだまもりおれむちへ
又あんじおそいよ、ほこて
たゝみきよ、世、ほこて

(九三)

一玄より大きみぎや、
首里もりおれむちへ、

四の六〇

あんじおそい玄よ、
せぢまさて、ちよむれ
又ごよむくよおそいぎや、
まだまもりおれむちへ
又あぢおそいぎや、おより、
むうよせが、おより
又きらのかせ、おれむちへ、
又かのかせ、おれむちへ
又おれらかせ、みまぶら、
あせむかせ、みまぶら

(九四)

一きこゑせんきみぎや、
せへごまいて、おむちへ、
あんじおそいよ、

校訂おもしろさうし

ままが、いのち、みおやせ

又とよむきみ、とよみぎや、

ませねがておれむちへ、

又あまみやから、

まへの、きみ、やれと

又まねりや、から、

あへちへ、きみ、やれと

又さしふ五ころよ、

みまぶてま、おれたれ

又むつき七ころよ、

かいなでま、おれたれ

又大きみぎや、御さうせ、

てるかえ、のだて

船急どのおもしろ御さうし

天啓三年 癸亥 三月七日

(一)

一あかぢ、めづらしや、
いちへら、かぢ、
おみ、まぶてま、そりやせ
又きみの、めづらしや

(二)

一おしちへたる、ゑ、
つかさく、ゑ、
あむ、いので、そりよる、ゑ
又そり、いでたる、ゑ
又あさどれが、まよれそ
ようどれが、まよれそ

(三) 夫よりゑこのふし

一 おくらつが、ふなやれ、
げらい、まさり、^(二)とみ、
おしうけらと、

又 夫よ、ふさよ^(二)見れ

又 あんじおそいが、おやおうね

(四) おくらつがふなやれがふし

一 夫より、お見る、^(三)てだこが、

おやおうねと、つかよ^(二)見、

おや、おうねや、えちへ、きより

みちや、えりやちへ、きらや、

夫よ^(二)見、世の、つぼよ、

世の、つくせ、とおやせ

(一)モ、舟之
こと

(二)首里天加
那志の御事
こ

又ぐま^(二)く、お見る、てだこが

(五) 夫よりゑこのふし

一 夫ざべ、大ざこが、

かち、とたる、^(三)こまさよ、

大ざみよ、

またへ、こうて、えりやよ

又よかる、大ざこが、かち、とたる、

又あくて、おちやる、かうちちよ、

そで、たれて、見たたる

(六) 夫ざべ大ざこがふし

一 夫より、お見る、てだこが、

おうねの、きみ、おしうけて、

も^(二)うら、おそ^(二)う、たまの、^(三)きみつかい

(一)モ、きよ
らかの事

(二)モ、舟の
名

校訂おもしろさうし

又ぐまぐ、お見る、てだこが

(七) 夫よりゑごのふし

一 夫より、お見る、てだこが、

まつごみの、おやおうね、

あぢおそいが、なおさ、ごり、そりやせ

又ぐまぐ、お見る、てだこが

(八) おくらつがふなやれがふし

一 夫より、お見る、てだこが、

うきまゑ、げらへて、

たう、なをん、よりやう、なを、どまり

又ぐまぐ、お見る、てだこが

(九) 夫よりゑごのふし

(一)モ、那覇
之事
(二)モ、唐な
んばん

(一)モ、飛鷹
のこと

二十二の四〇

一 夫より、お見る、てだこが、

みてづから、たちよちへ、

ぶれたかの、まやう、やよ、きよらや

又ぐまぐ、お見る、てだこが

(一〇) おくらつがふし

一 夫より、お見る、てだこが、

も、うらおそい、げらへて、

たまとしり、たまやりと、みもん

又ぐまぐ、お見る、てだこが

(一一) 夫よりゑごのふし

一 夫より、お見る、てだこが、

ながへきよら、御ぐまぐ、

だりまよ、また、かみ下、とよめみ

(一)モ、萬々
歳迄清らか
目出度など
いふ事

二十二の四一

校訂おもしろさうし

又まだまもりぐすく

(一四) 夫より夫ごのふし

一 夫よりもりぐすく、

くもかせた、よりそへ、

のちが、をゑ、

せくさ、よせる、まじ

又まだまもりぐすく

(一三)

一 夫より、お見る、てだこが、

げらへたる、ゑそこ、

たま、めづらせ、このとく、まさり、

又ぐすく、お見る、てだこが

(一) 勢軍

二十二の四二

(一) ア、集め
てこ

(一四) 夫より夫ごのふし

一 夫より、お見る、てだこが、

おやおうねと、おしうけて、

たま、みねぶ、見たしよ、

おぎやかもいが、つほよ、玉みしやこ

又ぐすく、お見る、てだこが

(一五) 夫より夫ごのふし

一 夫より、お見る、てだこが、

おちやの、さいく、あそゑて、

おねうちをる、ことい、ぶさ、をだちへ

又ぐすくお見るてだこが

(一六) 夫より夫ごのふし

一 夫より、お見る、てだこが、

たうの、みち、あけりちへ、

又うと、もいが、なんだいむ、かよ、ある
又ぐまぐ、おむる、てだこが

正徳十二年十一月廿五日ひのこのどりのへよせちあらとみ
まなむんよ御つかいめされし時よおぎやかもい天の御みて
づからめされ候るよ

(一七) 夫よりゑこのふし

一大ぎみと、たかべて、

せち、^(三)あらとみ、おしうけて、

大ぎみよ、

おゑちへ、^(三)こうて、そりやせ

又せだかこと、たかべて

又あちおそいぎや、おさうせや、

むかう、かた、まなて

(一)モ、舟
(二)モ、順風

(三)モ、肝の
事

又おぎやかもいが、おさうせや、

むかう、かた、まなて

又あちおそいぎや、

おやおうね、おしうけ、

かた、まぶりよ

又げらへ、せちあらとみ、くりうけ、

かた、まぶりよ

又ぶれしまの、かみく、

あよそろて、^(三)まぶりよ

又きみとゑと、たかべて、

せちあらとみ、おしうけて

又のろくくと、たかべて

尙清王加那志御代

嘉靖三十二年五月四日つちのこのどりやらざもりのまうと

(一)モ、尙清
王かなし神
御名こ

校訂おもしろさうし

一〇

らしいの時よきみま物のみ御まへよりおかみ申みせゝる
天つぎのあんしおそいかなし天の御み事よゑとつくり申候

やふその大やくもい
こゑくの大やくもい
こふとの大やくもい
くよよしの大やくもい

(二)モ、王か
なしこ
(三)モ、御了
簡こ
(四)モ、石垣
の事こ

(一八) 志よりゑこのふし

一天つぎの、御さうせ、

大きみと、たかべて、

やらざもり、いしらごと、

おりあげて、ともゝせへ、

せいくさ、よせるまじ

又 せうよせの、御このみ、

せだかこと、のだてゝ、

五六〇

(五)モ、石垣
の事

五六一

やへざもり、ましらごと、

つみあげて、ともゝせへ

又 きこゑ、天つぎの、世の、

さうせ、めしよせちへ、

おくの、みよう、いしらごと、

おりあげて、ともゝせへ

又 せよむ、せうよせの、世の、

さうせ、めしよせちへ、

おくの、うみの、ましらごと、

つみあげて、ともゝせへ

又 きこへ、大きみぎや、

やらざもり、ちよせちへ、

だしきやくぎ、さしせちへ、ともゝせゑ

又 せよむ、せたかこが、

やへざもり、ちよせちへ

第十三

一一

(六)モ、海深
きところこ

あさか、がね、とゞめと、ともゞせへ

(一九) 老より老このふし

一あか、かまる、ふなやれ、

げらへ、こがねとみ、

大ぎみよ、

またい、こうて、とりやよ

又たうと、いでき、とりよれと、

たうの、ぼうさ、たかべて

(二〇) 老より老このふし

一おしかとが、もちよる、

うけたから、とよで、

うけるかせ、

ちやくよとみ、おうね

(一)モ、舟

(一)モ、御日
の事

又かみよしやが、もちよる

(二一) 老より老このふし

一あがる、よせ、きみ、さしふ、

いせゑけり、てるかたよ、

ちやくよ、ゑらで、つかひ

又きみの、世せ、きみ

(二二) 老より老このふし

一みちへりきよが、もちよる、

かな、かふと、げらへて、

かなふくよ、もちりよかす、きよらや

又かみよしやが、もちよる

(二三) 老より老このふし

(一)モ、清ら
かなる事

校訂おもしろさうし

一みちへりきよが、もちよる、
げらへ、まさりとみ、
ふなやれ、げらへて、みおやせ
又かみよしやが、もちよる

(二四) ちつにしやがふじ

(一)モ、我
(二)モ、出て
ア、云
(三)モ、行や
う
(四)モ、八十
(五)モ、百
(六)モ、七十
(七)モ、か子

一みちへりきよが、もちよる、
かみにしやが、もちよる、
で^(二)見ん、これ、いちへ、と^(三)りやよ
又^(四)らぶく、^(五)らぶ、
も^(六)らぶ^(七)びの、おや、おうね
又^(八)らぶく、^(九)らぶ、
や^(十)そ^(十一)ら^(十二)びの、おや、おうね
又^(十三)も^(十四)ら^(十五)そ、^(十六)の^(十七)る、^(十八)ふ^(十九)な^(二十)こ、
な^(二十一)ら^(二十二)そ、^(二十三)の^(二十四)る、^(二十五)ふ^(二十六)な^(二十七)こ

(八)モ、むや
ま^(九)ん
(九)モ、眞男
ん
(一〇)モ、久
高津堅しま
の事^(一一)ん
(一一)モ、遠
くと^(一二)み^(十三)お^(十四)る
して^(十五)こ
(一二)モ、久
高津堅しま
の事^(十三)ん

又^(一)いや^(二)く、ま^(三)ころ^(四)くが、
いちの、かぢ、まちよく
又^(五)こ^(六)む^(七)しま^(八)の、か^(九)み^(十)く、
又^(十一)お^(十二)さん、^(十三)ま^(十四)ち^(十五)へ、^(十六)ま^(十七)ぶ^(十八)り^(十九)よ^(二十)じ
又^(二十一)つ^(二十二)れ^(二十三)しま^(二十四)の、か^(二十五)み^(二十六)く、
お^(二十七)さん^(二十八)ま^(二十九)ち^(三十)へ、^(三十一)ま^(三十二)ぶ^(三十三)り^(三十四)よ^(三十五)じ
又^(三十六)な^(三十七)は、^(三十八)ど^(三十九)ま^(四十)り、^(四十一)ぬ^(四十二)き^(四十三)あ^(四十四)て、
お^(四十五)や、^(四十六)ど^(四十七)ま^(四十八)り、^(四十九)ぬ^(五十)き、^(五十一)あ^(五十二)て、

(二五) つよつけたま^(一)りやせがふじ

(一)モ、實に
(二)モ、早く
せ^(三)よ^(四)り
い^(五)ふ^(六)事^(七)ん

一みちへりきよが、
げ^(一)よ、^(二)と^(三)り^(四)よ^(五)る、
じ^(六)が^(七)う^(八)ら^(九)の、^(十)め^(十一)づ^(十二)ら^(十三)し^(十四)や、
は^(十五)や^(十六)く、^(十七)と^(十八)り^(十九)そ^(二十)い^(二十一)よ
又^(二十二)か^(二十三)み^(二十四)よ^(二十五)し^(二十六)や^(二十七)が、

げよ、とりよる

(二六) うち出ぬたくしこらふつけがふし

よ^(一)きな旦那が、もちよろ、

かみにしやが、もちよろ、

けお、みちへ、もゝど、

みふさ、よ旦那

又きこゑ、あぢおそいや、

とよむ、あんじおそいや

又どなき、^(二)とし、^(三)まよ旦那へ、

けらま、よ^(三)ど、まよ旦那へ

又^(四)どのしきよ、お旦那へ、

ふうま旦那、お旦那へ

(二七) うちいてはやくめづらしがふし

(一)モ、たよ
りしてこ
(二)モ、少し
滞在してこ

一宅への、ゆきな旦那、

まない、かみ、やれど、

かけて、まさり、よ旦那

又きこへ、あんじおそいや、

とよむ、あぢおそいや

又ままおそいよ、ちよ旦那へ、

かなふく旦那、げらへて

又たり、よから、きけど、

きやう、よりや、まさり

(二八) 宅へのよきな旦那がふし

一よきな旦那が、もちよろ、

かみよしやが、もちよろ、

この世、おそて、なおまよ旦那へ

又きこゑあんじおそいや

とよむあんじおそいや

(三九) これいごかしきのかねつがふし

一くめの、やまぐまぐ、

げらへ、やまぐまぐ、

げらへ、ふさよる、^マ もり

又けさと、かみが、たけ

いみやま、のろが、たけ

(三〇) うちいてまうらまへがふし

一おきて、むらいきよ、

なさの、そやけ、こて、

やかやちやる、なよら

又こゑしのと、たかべて、

かみよしやと、たかべて

(二)モ、乞こ

(二)モ、順風

(二)モ、舟の名

(二)モ、我こ

又まよし、^(三)こや、べら

^(三)おいちへ、こや、べら

(三一) うちいてまきやのしがふし

一ゆらきやねが、ふなやれ、

やらいとみ、おしうけ、

むかい、ほこら

又ゑひせよやの、ゆらきやね

又あが、^(三)ころが、つかいそ

又なで、ころが、つかいそ

(三二) なよくらがもちよろがふし

一なよくらの、のろの、

あまへとみ、かまへつで、みおやせ

又むかのろと、^{ア、}ままり

(一)ア、蓮の
事

校訂おもしろさうし

又(二)ア、みやし、うちよちへ
又せりこ、こうて、うちよちへ

(三三) うちいてまきみのあんじのふし

一 いやく、めづらしや、

こと、なおし、おれむちへ、

きよらや、もりぐまぐ

又おなりがみ、みれと

又おきおほちが、

さかい、とひこりて

(三四) 未よりゑごのふし

一 くめの、こゑしのが、

も、うら、こゑしのが、

うけみつ、なりおそい、つけれ

(一)モ、南風
之事

又あよみねよ、あつる、

おきよおほちが、うゑけ

又やまの、ひよどりや、

うけどやり、ふく、やよ

(三五) 未よりゑごのふし

一(二)まへ、まつなりぎや、

またい、さらめけと、

たう、なむん、

かまへつで、みおやせ

又おゑちへ、まつなりぎや、

おゑちへ、さらめけと

(三六) なよくらののろのあまへごみがふし

一 なよくらが、もちよう、

せだかこよ、いちへ、おやせ
みや、あかり、よけれ、せだかこ
又かみまもの、ことむ
せだかこよ、いちへ、おやせ

(三七) まよりゑこのふし

一くめの、たうやまよ、
うへてあつる、うるまし、
うけみつ、なりおそい、つみ
又となれ、たうやまよ
又うねよ、おて、うてと、
大里よ、とよで

(三八) まよりゑこのふし

一くめの、こいしのが、

も、うら、こひしのが、
これど、だよの、きやの、まかね
又ぐしかむの、とまり、かほうよる
又やまど、ま五らせど、
まられてと、とりやたな

(三九) まよりゑこのふし

一くめの、むかきよらが、
なおう、こので、おむちへが、
おいちへ、こうて、
てる、きしやき、つかい
又となれ、むかきよらが

(四〇) かうちをつなりがふし

一きこゑ、せのきみが、
こいしの、おもか、かその、

みしま、ようしま、からど、
かなしや、ある

又とよむ、せのきみが、こいしの
又いしけ、なと、まみやよ、
けさ、げらへ、あるよる

(四一) うちいてむごしまおそいがふし

一きこゑ、せのきみが、
うらとりぎや、みもん
又とよむ、せのきみが

(四二) あやげらへのふし

一きこへ、せのきみと、
つゝとりきや、むちへ
又とよむせのきみと

(一)モ、舟之
事

(一)モ、舟の
事

又せのきみが、おうねや、
むしが、まやい、とみ

又あちおそいが、おうねや、
げらへ、まま、うちとみ
又むしが、まゆい、とみと、
げらへ、しまうち、とみと

(四三) うちいてむつゝとりくむちへがふし

一きこゑせのきみが、
あや、けむい、みもん
又とよむせのきみが
又あさどれがまよれと

(四四) よなおさがゑそこがふし

一まつなりが、ふなやれ、

やうら、おちへ、^(一)りきよ、つかい
 又かみよしやが、ふなやれ、
 又ち、ようきや、てう、みおうね
 又まきしや、てう、みおうね

(四五) あけまよのかみにしやが良金（銀）よらちへのふじ

一 屯つかねや、かみよしや、もちよる、
 又あしら、くろ、おやおうねと、おしうけて
 又あち、おうねや、こがね、せひ、おしたて
 又げと、おうねや、くがの、せひ、おしたて
 又あち、おうねや、まぬ（三）の、ほうと、ひきたて
 又げと、おうねや、ま（三）りき、ほう、ひきたて

(四六) 煮より煮このふじ

(一)モ、布帆
 の事
 (二)モ、莖帆
 の事

一 ぐめの、こいしのが、
 おとちよもい、つかよと、
 きこへ、くろかりやよ、
 どりよと、やり、ふさよと
 又も、うら、こいしのが

(四七) ごまりみちへりきよがふじ

一 五くの、まころくよ、
 又（二）うききよら、とりやせ
 又たらこ、かいなで、ころ
 又こゑしのと、たかべて
 又おなり、がみ、たかべて
 又ひか、たけよ、のぼて
 又おほか、くち、のぼて
 又よかる、けと、ゑらで

(一)モ、舟

(二)モ、船作
場の事
(三)モ、船作
場の事

又きやかる、けえ、ゑらで
又もど、つげな、なつけて
又やま、つげな、なつけて
又(三)をらからの、えや、おうね
又(三)すゑからの、えや、おうね
又なと、どまり、えりやへと
又おや、どまり、えりやへと
又も、おうねの、ふなさき
又やそ、おうねの、ふなさき

(四八) うちいでまかうちをつなりがふし

一きこゑ、お目もりや、
きよら、えりやせ、ゑ、
おこれや、やちよこ
又ごよむ、お目もりや

又あさどれが、まよれと
又ようどれが、まよれと

(四九) うちいてまおしやへこがふし

一おかちや、大ころよ、
おかちや、なでころよ
又おやのかみ、やれと、
おなりかみ、やれと
又おれる、かぞ、よせて
あまぶ、かぞ、よせて
又あがるいの、みしま、
なお、つほよ、あてかよう
又てたが、あなの、みまま、
なお、つくせ、あてかよう

(五〇) 五くのまころくのふし

一どまり、みちへり、きよう、
 そよらく、とりやせ
 又やれ、みちへりきよう
 又どまり、あやみやよ
 又やれ、あやみやよ
 又百、かめと、をゑて
 又やそ、かめと、をゑて
 又かみ、ほこる、そやけこ
 又たか、ほこる、そやけこ
 又かみ、ほこて、から
 又たか、ほこて、から
 又みか、づきの、みつやよ
 又四か、づきの、みつやよ

(五一) うちいてむきみよしきみのふし

一おむもりが、
 けおの、きみ、あまへて、
 ふれまで、とりやまよ
 又たまで、おりや、
 又けて、おりや
 又おし、うけむちへ、
 くりうけ、むちへ

(五二) つまじけがふし

一まけかけの、かみよしやが、
 ふなやれ、うきわたの、
 なおれよる、きよらや
 又あが、ころと、よくし

(二)モ、明日
の事

校訂おもしろさうし

ことせど、えやり

又よう、あけ、いちへて、

あけどまよ、さりよれと

又おかみ、いちへて、

みさき、いちへて、

さりよれと

(五三) きまゝ大やこがふじ

一どまり、さちへりきうよ、

やむれ、みちへりきうよ、

あくかべよ、よさり、あまやかせ

又えより、のろ、たかべて

おや、のろと、たかべて

又いちへて、てゝ、えられゝ

さり、より、てゝ、えられゝ

(二)舟の事

又どまり、えらね、ども、

くちや、えらね、ども

又さしまむちへ、いれて

ぬきまむちへ、いれて

(五四) えよりゑこのふじ

一どもそいが、なでころ、

せりきう、ごみ、おしうけて、

くもかせの、たち、なおる、きよらや

又かみよしやが、なでころ

(五五) えよりゑこのふじ

一どもそいが、なでころ、

たち、なてま、まぶりよと、

よそお、せち、まさる、

校訂おもしろさうし

見かゑ、きよう

又かみよしやが、なでころ

(五六) 毛つなりのふし

一世なおさが、^(二)ゑそこ、

ゑ、け、やれ、ゑ、け

又かみよしやが、ゑそこ

又まとい、くよ、さへの

又や^(一)と、おちへこう

(五七) 毛よりゑこのふし

一みるや、てる、てりやかり、

てりや、あかりと、たかべて、

あぢおそいが、御つかいど、とりよる

又かなや、てる、てりやかり

(二)モ、舟の
事

(二)モ、御顔
の事

(五八) 毛よりゑこのふし

一あがる、てだ、おかみや、

あんじおそいま、おかみよれ、

あける、日や、おみ^(二)かうど、おかむ

又あがる、月、おかみや

(五九) 毛よりゑこのふし

一おぎやか、なり^(一)ちよやが、

あち^(一)、ゑらぶ、おうね、

かみ、てだの、まぶり、よむる、おうね

又あぢおそいが、おや、おうね

(六〇) みちへりき^(一)らかけま^(一)りよるがふし

一みちへりきうが、もちよる、

又ふなさき、つよ、つけた、とりやせ
又かみよしやが、もちよる
又あちおそいが、おうねや

(六一) うちいてとおかちや大ころがふし

一 おしやへこが、ふなやれ、ゑ、
あおりやへ、やとりつなや、ちよこ
又かみよしやが、ふなやれ

(六二) おもかまのみしまがふし

一 かうち、まつなりが、
かみく、あまへて、
ほこてま、とりや、まよじ
又みもん、まつなりが、かみく

(六三) まよりゑこのふし

一 さとちきうが、ふなやれ、
おうね、くらなみ、ようつゆ、
かけら、たな、とりやせ、
(又)あちおそいが、おやおうね

(六四) まよりゑこのふし

一 おや、さとち、ねとらちへ、
あちおそいよ、まなて、
おもう、やよ、
うちや、あがりやり、みおやせ
又このと、たつあふ、なみや、
あちおそいよ、まなて

(二)モ、神人

校訂おもしろさうし

(六五) ふなやれひやしがふし

一くめの、こいしのが、

くまたか、むかきうか、

たまよせ、おうね

又あさどれが、まよれえ

又ようどれが、まよれえ

○(六六) あかつめづらしやがふし

一大よしの、うらそり

なよくら、てづてま、そりよれ

又(三)さきよだの、うらそり、

○(六七) あかつめづらしやがふし

一大よしよ、ごよむ、

(二)モ、讀谷
山の事

きこへ、なよくらア、イ、ウ、エ
てづてま、そりよれ
又さきよだよ、ごよむ、

○(六八) あおりやへがふし

一きこゑ、よんたむぎ、

おしやけ、み、あぐて、

だりま、そりア、イま、ちやれ

又ごよむ、よんたむぎ

又かみの、ふね、も、おうね

又下の、ふね、やそ、おうね

(六九) まよりゑこのふし

一いやや、大やこが、

せなと、おきて、なしよむちへ、

校訂おもしろさうし

せなと、おきて、
なつ、みつる、かよ、ある
又せなと、大やこが、
せなと、おきて、なしよむちへ

(七〇) 老よりゑごのふし

一いへの、あちが、ふなやれ、
おしかさま、老られて、
あん、まふで、
此と、むたし、よむれ
又あち、ゑらびが、ふなやれ

(七一) 老よりゑごのふし

一いへの、えたころ、
あちよせよ、なりよもい、

(二)モ、目ん
こ

まこねぢと、
あんじおそいよ、みおやせ
又えなれ、えたころ、
あちよせ、なりよもい

(七二) 老よりゑごのふし

一えも月が、たちよれと、
あん、まちよれ、まこねじ、
まこねじや、
きもからも、さらん
又むかなつが、たちよれと

(七三) かつれんむいきやるかつれんがふし

一あまもりの、
きりくちの、

きみの、あまへ、

きよら、ており、ごみ

又づれの、ふた、

づれの、まきよ、

おれ、ぼしや

又いじけ、まきよ、

いじけ、ふた、

おれぼしや

(七四) まよりちあほりやへがふし

一あがるいの、つかさご、

あがたかべ、つかさご、

うみとらちへ、

かせ、なおちへ、つかい

又てだが、あなの、つかさご

(一)モ、佳聲

(七五) きよみあくむがふし

一あがるいの、大ぬし、

ふるの、ごりの、かこへの、

うらくご、きよ、きよらや

又てだが、あなの、大ぬし

(七六) ふいのごりのふし

一あがるいの、大ぬし、

きよ、みやぐむ、せぢ、

やてよこ、ころ、

そろいむる、あちおそい

又てだが、あなの、大ぬし

(七七) むつにしやがふし

校訂おもしろさうし

一あがるいの、大ぬし、
大ぬしが、まへよ、

(一)モ、白さ
(二)モ、赤さ

あかぎ、ゆまぎの、となの、
ましろ、まから、さきよれと、
おれ、よとて、おれさちへ、
あけの、つよよ、おされて、
なみきや、よりきや、

とるよれと、おれまよる、ころたへ
又てだが、あなの、大ぬし

(七八) ふへのごりのふし

一あがるいの、大ぬしが、
まへから、あよ、そろて、
やくめ、て、まられ、
又てだが、あなの、大ぬし

(七九) ふへのごりのふし

一あがるいの、大ぬし、
天が下の、
あんじ、げま、ちかむと、
おぎも、まやり、なをし、より
又てだが、あなの、大ぬし

(八〇)

一あがるいの、大ぬし、
あけま、もどろ、みれを、
へよの、ごりの、まゆへ、みもん
又てだが、あなの、大ぬし、

(八一)

一あがるいの、大ぬし、あのち、

大ぬしぎや、みもん

又てだが、あなの、大ぬし

(八三) ふいのごりのふし

一あがるいの、大ぬし、

こへがなし、なりきよら、

うちちへ、ままそいれ

又てだが、あなの、大ぬし

(八三) むつまじやがふし

一あがるいの、大ぬし

きこへ、くよ、せりきうど、

やくの、やくせ、ほてらちへ、

てり、おそいが、みもん

又てだが、あなの、大ぬし

又いろの、またま、へよと

又いろの、むか、さかいと

又いきや、よむる、ところ

又おも、よむる、ところ

(八四) ふいのごりのふし

一あがるいの、大ぬし、

みやきせん、かな、ひやぶ、

あちおそいそ、

かけて、ふさよむれ

又てだが、あなの、大ぬし

(八五) うちいてむふいのごりのふし

一あがるいの、

あけもどろ、たてと、

校訂おもしろさうし

ごはしり、やとしり、

おしあけぢちへ、

みもん、きよらや

又てたが、あなの、

あけもどろ、たてと

(八六) ふへのごりのふし

一あがるいの、大ぬし、

大ぬしが、このみま、

ゑそこ、みおうね、このだれ、

おぎもの、まなお、やま、とりやせ

又てだが、あなの、大ぬし

(八七) ちつましやがふし

一あがるいの、大ぬし、

やゝの、まほう、

おしあげて、とりやせ

又てだが、あなの、大ぬし

(八八) ちつましやがふし

一あがるいの、大ぬし、

なるかねの、おもいぐせ、

まつらがね、まくもよ、

なか人よ、やた物、

やこへ、せせ、^(三)どこへせせ、

とくつかい

又てだが、あなよ、とよみよし、

又あさつゆえ、けりあげて、

よう、つゆえ、けり、あげて

又なか人よ、かよて、

(一)モ、八聲
(二)モ、十聲

こいものよ、かよて

(八九) ちつましやがふし

一 地天、とよむ、大ぬし、

ちうらの、となの、

さい、むたる、みもん

又 天ぢ、とよむ、大ぬし

(九〇) ちつましやがふし

一 あがるいの、大ぬし、

天が下、

せち、まさる、あぢおそい

又 てたが、あなの、大ぬし、

天が下

又 きこへ、くよせりきよが

又 玄よりもり、ちよむる
又 まだまもり、ちよむる

(九一) ちつましやがふし

一 あがるいの、大ぬし、

たま金、みうちよ、

たより、なちへ、みおやせ

又 てだが、あなの、大ぬし

(九二) うちいてむなこさかいがふし

一 くよかきの、おや、のろと、

せど、玄やり、もちろ、やほう、

うらまきちへ、とりや玄よむ

又 くよかきの、むかのろと

又 あかぎ、とて、ゆまぎ、とて、とくか

又あやぎ、とて、くせぎ、とて、
 ほう、としりや
 又てうの、いとと、まうの、いとと、
 みなとせ

(九三) うちいてとおしかけふし

一あけしの、かみよしや、
 やれかゑ、やくの、
 やほう、あおらちへ
 又なよかきの、のろよしや、
 又あさどれ、ようどれ
 又いたきよら、たなきよら
 又ふなこ、ゑらで、てかち、ゑらで
 又あけしの、せど、まぢやうを
 又なよかき、てどり、ちやうを

又そできよらと、ゆうどり、ちやうを
 又かせのてや、ほう、ふくろよ、まなへ
 又なみのてや、ふなはらよ、まぢへ

(九四) うちいてかつかねがふし

一あけしの、かみよしやが、
 なむぢや、こがね、よらちへ、
 とりよる、きよらや
 又なよかきの、のろよしや
 又あさどれが、まよれと

(九五) こむもりかなもりがふし

一きこゑ、あけまのが、
 おみしやく、さしやげと、とりやせ
 又とよむ、あけしのが

(一)モ、すば
といふ事

(二)モ神人之

(九六) 御みじやくぬきあけがふし

一きこゑ、あけしのが、

ちやくよ、かなしけや、

かみ下の、かまへ、

つで、みおやせ

又とよむ、あけしのが

(九七) 御みじやくぬきあけがふし

一きこゑ、あけしのが、

かみ下、とよむ、みおどん、げらへ

又とよむ、あけしのが

(九八) あけしのがふし

一きこゑ、あけしのが、

ゑか、きみ、えねこよむちへ、

くもかせ、えなてとりやせ

又とよむ、あけしのが

(九九) あけしのがふし

一きこゑ、あけしのが、

こむもり、かなもり、

み、あぐむ、かみぐまぐ

又とよむ、あけしのが

(一〇〇) ④こむもりかなもりがふし

一きこゑ、あけしのが、

あがるいの、こむもり、

こむの、えなの、

さきよれと、

うら／＼と、
見か、きみ、つかい
又とよむ、あけしのが

(一〇二) うらそいおもしろのふし

一きこゑ、あけしのが、
あよ、そろお、

たゝみきう、まへかち、

天が下、たより、なちへ、みおやせ
又とよむあけしのが

(一〇三) あけしのかこむもりかなもりがふし

一きこゑ、あけしのが、

さやと、だけ、おれむちへ、

あけせ、みそ、めしよむちへ、

(一)モ、平ら
けてこ

(二)風なおり
こ

かざなおり、さしよむちへ、
なみ、とやろ、うみ、とやろ、
おしうけて、ひやくなの、
うらとりが、みもん
又とよむ、あけしのが

(一〇四) あけしのがこむもりがふし

一きこゑ、あけしのが、

あおまよ、みそ、めしよむちへ、

なみが、えな、おそよむ

又とよむ、あけしのが

(一〇五) まつよしやがふし

一あおり、こしりやへと、

せど、まやり、

(一)モ、青色
の衣こ

校訂おもしろさうじ

お包もり、かまへかち
又きみの、こしりやへと
又あさどれが、まよれと
又ようどれが、まよれと
又いたきよらと、おしうけて
又たなきよらと、おしうけて

(一〇五) まつましやがふし

一月まろの、大ぬし、
きくやなき、たけから、
やまと、ひちめかちへ、
あがて、てる、月まよ、
あが、なさが、せひき
やひ、きゑ、あがる、やよ
又、ゑらぶ、てる月まよ

(一)モ、御月の事

(二)モ、月出
て山端を映
して

(三)モ、我
(四)モ、父親
の事

(五)モ、明の
月の事

七の三五

(一)モ、早朝
咲花の事

(一〇六) うちいてまあかるゑこのふし
一てまよ、とよむ、大ぬし、
あけ、もどろの、となの、
さいじたり、
あれよ、みれよ、
きよらやよ
又ちてまよ、とよむ、大ぬし
あけもどろの、はなの

(一〇七) まよりゑこのふし

一きこゑ、大きみが、
せいやりとみ、めしよじちへ、
なみかせ、なごやけて、
さやえだけ、きみくまよ、むかい

(一)モ、浪風
やばくと
なる事

校訂おしろさうじ

又とよむ、せたかこが、
 てよりとみ、めしよむちへ、
 なみかせ、なごやけて、
 さやえだけ、きみくゝまよ、むかい
 又きこゑ、あんじおそい、
 ふさいとみ、おしうけて、
 なみかせ、なごやけて、
 さやえだけ、きみくゝまよ、まぶれ
 又とよむ、あんじおそいが、
 せいやりとみ、おしうけて、
 なみかせ、なごやけて、
 さやえだけ、きみくゝまよ、まぶれ

(一〇八)

一せちあら、かみ、ごまり、

(一)モ、さや
はたけの事
こ

くもこ、よせ、ごまり、
 なみかせ、なごやけて、
 さやはだけ、きみくゝまよ、まぶれ
 又あさどれが、まよれえ、
 せいやりとみ、おしうけて、
 なみかせ、なごやけて、
 (三)あまもりの、きみくゝまよ、まぶれ
 又ようどれが、まよれえ、
 ふさいとみ、おしうけて、
 なみかせ、なごやけて、
 せらちよんの、きみくゝまよ、まぶれ
 又うみ、なおし、うてむちへ、
 なみおそいと、おしうけ、
 なみかせ、なごやけて、
 うらのかせ、きみくゝまよ、まぶれ

(二)ア、赤き衣の事

(三)モ、寄合て

校訂おもしろさうし

又かさなおり、あおらちへ、
 (三)あけの、みそ、あおらちへ、
 なみかせ、なごやけて、
 うらのかせ、きみくゝまよ、まぶれ
 又こをお、もりの、きみくゝ、
 (三)まやゑて、おこらめ、
 なみかせ、なごやけて、
 又まよりもり、きみくゝまよ、まぶれ
 又かな、もりの、きみくゝ、
 きやゑては、おこらめ、
 なみかせ、なごやけて、
 まだまより、きみくゝまよ、まぶれ

(二〇九) 夫よりゑこのふし

一 夫よりもり、ちよむる、

(一)モ、舟の名

きこゑ、あんじおそい、
 せいやりとみ、おしうけて、
 こむもり、ちよむちへ、
 ひやくさせぢ、あんじよ、みおやせ
 又まだまより、ちよむる、
 又ぞよや、ませ、あぢおそい、
 (二)ておりとみ、おしうけて、
 こむお、もり、ちよむちへ
 又きこゑ、大ぎみが、
 こむお、もり、つかさと、
 おこと、あむまよ、むちへ、
 てるかえよ、まられて
 又とよむ、せだかこが、
 こむお、もり、つかさと、
 おこと、おむまよむちへ

又くよかさの、おや、のろ、かよとねて、
 おぎやかもいよ、えられ、
 又くせきよらの、大のろ、かよとねて、
 おぎやかもいよ、えられ、
 又えよりもり、ちよむる、
 おぎやかもい、あぢおそい、
 いみや、からど、
 せへまさて、ちよむる

(一一〇) おやみかまがふし

一きみとよみ、まし、
 ちよきやれと、ふれまで、
 まち、よふさ、ゆらせ
 又うきとよみ、けおの、
 とねうち、やれと、

又おしうけ、むちへ、
 くりうけ、むちへ、からと
 又あける、つかさ、
 なおか、つかさ、やれと
 又たまこがね、もて、
 あむしやり、ほうとしりや
 又ておの、いごと、もて、
 あむしやり、みなむせ
 又まおの、いごと、もて、
 あむしやり、こなむせ
 又うみ、なおむ、やゝの、
 まほう、おしや、けて

(一一一) 老より老このふし

一みよちよの、たかべて、

校訂おもしろさうし

此と、いちへて、とりよれと、
うら、こゑで、そでたれて、とりやよ
又かみよしやと、たかべて

(一一二) 去よりゑこのふし

一あかかまが、ふなやれ、
てたが、まへ、去られて、
おゑちへ、こうて、
くもよ、おこられ、
又おゑますが、ふなやれ、
てたが、まへ

(一一三) 去よりゑこのふし

一あかかまが、ふな、やれ、
ゑらぶ、むせひもよへ、

(一)モ、順風

(一)モ、我

いみやこ、より、
めつらこゑ、やらに、
又おゑますが、ふな、やれ
又たびよ、たつ、あんと、
くれかてや、あれども、
いみやこ、より、めづら

(一一四) 去よりゑこのふし

一ゑらぶ、たつ、あまた、
大ぐまぐ、げらへて、げらへ、やり、
おもひぐまの、御だめ
又となれ、たつ、あまた、大ぐまぐ

(一一五) 去よりゑこのふし

一ゑらぶ、まことつが、

(一)モ、あの
人の事

(一)人名

校訂おもしろさうし

(二)モ、八ツ
内はすかま
といふ

たまの、きやく、たかべて、
ひこいちよと、
まかま、うちよ、とりやせ
又となれ、まことつ、たまの

(一一六) まよりあこのふし

一 ゑらぶ、世のぬしの、
ゑらで、おちやる、のさ、
あくか、む、よみの、
まきんとて、みやせ
又となれ、世の、ぬしの、
ゑらで、おちやる

(一一七) うちいてまみかなしてだのふし

一 きこへ、むてん、のろ、

(二)モみほし
やん

一の二一

(一)舟の名の
ことそ

み^(二)やけ、ぼしやの、
むかいきよ、まのび、
あくみ、ちよよ、まぶる、
かみ、そむて、まぶられて、
かよい、ふさよむちへ
又ごよむ、むてん、のろ

(一一八) むつまじやがふし

一 きこゑ、大きみが、
ま^(二)まうちごみ、おしうけて、
かぐらの、てより、ごみる、かよ、ある
又ごよむ、せだかこが、
ままうち、ごみ
又けおの、よかるひよ、
まま内、ごみ

校訂おもしろさうし

又けおの、きやくるひま、

まま内とみ

又あさどれが、まよれと、

ままうちとみ

又ようどれが、まよれと

ままうちとみ

(一一九) 大きみがいごめづらがふじ

一 大きみが、^(三)な^(三)おさ、こて、おれ^(三)ちへ、

あまへて、まま内、まさり、よ^(三)れ

又くよもりが、時とりやり、おれ^(三)ちへ

(一二〇) 大きみが時とりやりがふじ

一 大きみが、^(三)た^(三)ま、めづら、めしよ^(三)ちへ

あまへて、け^(三)れい、こき、みもん

十の五

(一) 御爲こ

(一) きよらさ
といふ事

又くよもりが、いごめづら、めしよ^(三)ちへ、
あまへてけ^(三)れい、こき、みもん

(一二二) うらおそいおもろのふじ

一 まさりきよが、ふなやれ、

おきな^(三)な^(三)、あ^(三)んじお^(三)そい^(三)ま^(三)よ、ちよ^(三)れ

又うきあがり^(三)が、ふなやれ

又な^(三)け^(三)ち^(三)へ^(三)て、おもな

又た^(三)よ^(三)て、て、おもな

(一二三) まよりゑこのふじ

一 かつれ^(三)なが、ふなやれ、

ふなやれ^(三)こ、か^(三)ま^(三)へ、

こ^(三)く、大^(三)みや、ひ^(三)ち^(三)や^(三)ち、

な^(三)ち^(三)へ、み^(三)お^(三)や^(三)せ

校訂おもしろさうし

又おごもいが、ふなやれ

(一一三三) うちいてまさをしきうがふし

一きこゑ、おしかさ、

ごよむ、おしかさ、

やうら、おちへ、つかい

又ききやの、うきま、

ききやの、もいま、

又うきま、かゝら、

ひるかさり、きやち

又ひるかさり、から、

中、せち、きやち

又なかせち、から、

かねの、しま、かち

又かねのま、から、

せり、よさよ、かち

又せり、よさよ、から、

かゑふたよ、かち

又かゑふたよ、から、

あまもりよ、かち

又あまもりよ、から、

かなひやぶよ、かち

又かなひやぶよ、から、

なと、とまり、かち

(一二四) まよりゑこのふし

一みやきせん、おや、おうね、

なむぢや、金、かくとみ、とも、

まきやけ、なと、とまり、とりやせ

又おもいぐまの、おやおうね

(一二五) 夫よりゑこのふじ

一 きこゑ、みやきせん、
もゝまかり、つみ、あげて、
かゑら、よせ、御ぐそく、げらへ
又 だよむ、みやきせん

(一二六) 夫よりゑこのふじ

一 うらおそいよ、おぼる、
げらへ、あまくもい、
あんじ、がなし、
夫より、かち、つかい
又 どうかしきよ、おぼる

(一二七) あけめなの夫よのふじ

一 あきみよの、ごまり、
きこゑ、おや、ごまり、
あよ、えりゑや、やちよこ
又 せんたま、おきて、
あぢ、なおり、おきて
又 うらゑるの、ごまりや、
ふさその、ごまり

(一二八) あきみよのごまりがふじ

一 あとごんの、大や、
あんじ、つきの、大や、
うみ、ごらちへ、
旦那がうら、よせれ
又 あかく旦那、たび、やたる、
さるこ、たび、やたる

又けらま、たび、やた物、
ざまみ、たび、やたもの
又いろいろやが、ほしやま、
八いろやが、ほしやま

(一一二九) きこへくよせりきよがふし

一あがるいの、大ぬし、
なたま、いろの、なつるぎ、
つみ、つけな、まよりもり、みおせ
又てたが、あなの、大ぬし、
なたま、いろの、なつるぎ、
つみつけな、まだまもり、みやせ

(一一三〇) まよりゑこのふし

一くしの、まへがねく、

(一)モ、人名

一の三三

世もちとみ、まだちへ、
ともゝをゑ、
のりふさい、まよ^(二)ちへ
又たけの、^(三)ちかいへきよ、
ほをな、おがで、まぶら
又たけくの、かみや、
ゆまたちて、まぶら

(一一三一) きこへ大ちみがせちごよむせいくさがふし

一きこゑ、大きみが、
ちやくにや、世そい、
あんちおそいを、ごよめ
又ごよむ、せだかこが、
ちやくよや、よそい、
あちおそいを、ごよめ

校訂おもしろさうじ

又いせゑけり、あぢおそい、
 ぢやくよや、世そい、
 あぢおそいを、ごよめ
 又いせゑけり、たゝみきよ、
 ぢやくよや、よそい
 又せいくさ、せぢ、まされ、
 ぢやくよや、世そい
 又せいひやこ、せぢ、まされ、
 ぢやくよや、世そい
 又えよりもり、ころく、
 ぢやくよや、よそい
 又みしま、かきころく、
 ぢやくよや、よそい
 又あゆ、ちよく、げよ、あれ、
 ぢやくよや、よそい

(一)モ、勢軍

(二)モ、右同

(三)男く

又きも、ちよく、だよ、あれ、
 ぢやくよや、よそい
 又けやる、せやりごみ、
 ぢやくよや、世そい
 又けやる、ておりごみ、
 ぢやくよや、よそい
 又やへま、しま、いつこ
 又えたら、えま、くえら、
 きも、まよい、えめて
 又えよりもり、あせらえ、
 つち、きりよ、きらせ、
 あんじおそいを、ごよめ
 又まだまもり、あせらえ、
 みちや、きりよ、きらせ、
 あんじおそいを、えよめ

(四)モ、土ん

(五)モ、土ん

第十三

校訂おもしろさうじ

又うらのかせ、かみく、
あいちへなて、まぶら、
あちおそいせ、とよめ

(一三三) うらおそいおもしろがふじ

一きこゑ、大きみが、

てるかえと、のたて、

あちおそいせ、

天ぎや下、おそい

又とよむ、せだかこが

てるしのと、のたて、

あちおそいせ

又いしゑけり、あちおそい、

あよが、うちと、なげくな

又いしゑけり、たゝみきよ、

(一)モ、いく
さく

おきも、うちは、なげくな

又せいくさ、おしたてと、

大きみせ、よしらめ

又せひやく、おしたてと、

せだかこせ、よしらめ

又くよもちの、むらく、

おぼつなよ、ゆそいて

又うらよせの、もころ、

かぐらなよ、ゆそいて

又くよかねの、とらく、

ままた、たいらげて

又うらひぢめ、もころ、

くよ、ひろく、そいて

又あかぐちやが、ゆいつき、

せいくさ、てゝ、とねて、

校訂おもしろさうし

あぢおそいま、
天が下、おそい

(一三三) 夫より夫このふし

(一)モ、やま
のかみの事
ん

一やまの、くよかねが、
なて、おちやる、こまつ、
あんじおそいま、

世がほう、せぢ、みおやせ

又ほこり、ころかまが、

(三) ともまさり、げらへて

又ほこり、ころかまが、

(三)モ、船の
名

又ほこり、ころかまが、
あまごつけ、からへて、
いでらかぞ、

そでたれて、とりやせ

(一三四) うちいてむいちやむながふし

一あまの、みちへりきよか、

まないごみ、まちら、たなめより

又てくの、みちへりきよか

(一三五) うちいてむせのきみがいやけたもきがふし

一きこゑ、せのきみが、

めつけ、まよむちへ、とりやせ

又とよむ、せのきみが

(一三六) きこへせのきみがとこさめがふし

一きこゑ、せのきみが、

うらくと、とりやせ

又とよむ、せのきみが、

うらくと、とりやせ

(一三七)

一このたけ、この、みちよの、

つかさこ、^{アお}かやまで、

ゑらてま、とりよれ、

ふたまたの、中へ、

あやの、てよ

又おくどう、いちへて、

おくどう、いちへて、とりゑと、

たるが、てゝ、^アせれが、てゝ、^アどうな

又やこ、^アどまり、くゝ^アさちへ、

たるが、てゝ、^アせれが、てゝ、^アどうな

(一三八) かうちまつなりがみのふし

一かうち、まつなりぎや、

めつら、こゑ、

なさいきよ、まへ、^アえられゝ

又みもん、^アまつなりぎや、

(一三九) うちいてまやくのきくたけがふし

一またゑ、またへ、

やおら、おせ、

こがね、くち、^アとりやさ

又おゑぢ、おゑぢ、^ア

や、^アうら、おせ

(一四〇) 首里ゑこのふし

一まより お見る、てだこが、

おや、おうねと、おしうけて、

とぶとりと、いそいして、^アとりやせ

(一)モ、あら
そいてこ

又ぐまぐ、お見る、てだこが

(一四二) 夫よりあごのふし

一 夫より、お見る、てだこが、

おや、みぶさ、つかよ見、

おや、みぶさ、きより、て、

夫られ、

又ぐすく、お見る、てだこが

(一四三) 夫よりあごのふし

一 夫より、お見る、てだこが、

御まへ、お見る、あまたへ、

よしの、うみの、なみのく見、

かみ、てだの、まぶり、よ見る、おうね

又ぐすく、お見る、てだこが

(一四四) 夫よりあごのふし

一 夫より、かち、いきや人、

あん、かたれ、いやりせ、

大きみが、きみし、うらきれて

又御まへ、かち、いきや人

(一四五) 夫よりあごのふし

一 やまのなしのが、

まぶる、かみ、なりよ見ちへ、

かほうとみ、のりふさい、夫よ見ちへ

又きみの、にせごのが、

こしあてかみ、なりよ見ちへ

(一四六) 夫よりあごのふし

(一)モ、行人
(二)モ、我に
(三)モ、みぶ
しやん

一 玄より、お見る、てだこが、
ふなやれど、みかまい、
かみまむの、かまへ
つで、みおやせ
又ぐまぐ、お見る、てだこが

(一四六)

一 くめぬきの、みおうね、
おしうけ、たる、みおうね、
あとなおちへ、
さき、よかる、みおうね
又あちおそいが、みおうね

先王尙寧尊君御上國之御時おなぢやらの美御前御つくり被
召候おもしろ

(一四七)

一 まよしが、まねまね、ふけば、
あんどおそい、てだの、
おうねど、まちよる
又おるちへが、おるちへど、ふけむ

(一四八) もつまじやがふし

一 あがるいの、か^くのよ、
むかて、とふ、かくよ^て、
まぶる、かみ、さらめ、
まちよく、あれ、みまぶら
又てだが、あなの、か^くのよ

(一四九) ふへのこりがふし

一あがるいの、大ぬし、
 あん、まぶて、くれけれ、
 あんじおそいぎや、
 ぢやくよ、とやつかい
 又てだが、あなの、大ぬし

(一五〇)

一あやぎ、うまよ、
 あやぎ、くら、かけて、
 あやぎ、ぶち、とらちへ、
 おゑたて、とりやせゑ、やれ
 又くせぎ、うまよ、
 くせぎ、くら、かけて、
 くせぎ、ぶち、とらちへ

(一馬)

(一五二) まつまじやがふし

一あがるいの、みつたけ、
 みつたけ、めより、
 まちよく、あれ、ころく
 又てだが、あなの、みつたけ

(一五三) まつまじやがふし

一あがるいの、みつたけ、
 みつたけ、めより、
 あれ、みるろ、のろく、
 あよ、ちよく、もちよけれ
 又てだが、あなの、みつたけ、
 みつたけ、めより

(一五三) 大あこのふじ

一ふてつたむ、

な^(二)の、おとぢや、

なしよとれ、

おや、やらと、て、

とん、とりやせ

又ふてつたむ、

どうの、おとぢや、

なしよとれ

(二)モ、七人

(一五四)

一これる、これ、とつよしや、

うらこ、まぢへ、せのきみ、つかい

又これる、これ、おきとと

又とつよしやま、まぢよたれ
又おきととま、まぢよたれ

(一五五) まよりあこのふじ

一あぢおそいぎや、おや、おうね、

ままみらと、くめたら、

あぢやと、なと、どまり

おや、おうねや、

せのきみまよ、まぢゆとめ

又おぎやかもいぎや、おやおうね

(一五六) まよりあこのふじ

一きみといと、たかへて、

たまこやま、のぼて、

なでまつと、げらへて、

(一)モ、眞字

とねうち、がま、まだちへ、
とぶとりと、いそいして、とりやせ
又うまのこが、さるく、
まいどの、なむ、かけて

〇 (一五七) まよりゑこのふし

(二)モ、人名

一ぢやなの、あさが、ふなやれ、
またへ、かせ、おちへ、きより、
あむ、おしられ、
おやまでま、とりよれ
又いちへき、あさが、ふなやれ、
おゑちへ、かせおちへ、きより
又やりおそいと、たかべて、
またゑ、かせ、こうたれ
又おやのろと、たかべて、

(二)モ、讀谷
山の事

またゑ、かせ、こうたれ
又大ましま、とりやさと、
なよくらま、ゑりよむめ
又さきよだま、とりやさと、
のろくま、ゑりよむめ
又みおかみむ、やぐめさ、
さきくむ、やぐめさ

(一五八) まよりゑこのふし

(二)モ、人名

一きたたんよ、おむる、
またらひが、おやおね、
せぢ、まさて、
ままうち、まさり、よむれ
又くよのねよ、おむる、
おもいぐむの、おやおうね

又おし、いちへやり、とりやさと、
 うらこ、まぢへ、とりやまよ
 又ぬきいちや、まやり、とりやさと、
 そでたれて、とりやせ
 又いくさ、まな、たちよと、
 あや、ざむね、さし、よとれ
 又ちやくよ、まな、たちよと、
 くせ、ざむね、さし、よとれ

(一五九) まよりゑこのふし

一大よしよ、とよむ、
 きこへ、なよくら、
 あん、まぶて、
 これど、見たしよとれ
 又さきよだま、とよむ

(一)モ、人名
 (二)モ、舟の
 名の事

(一六〇) まよりゑこのふし

一ひるぬしが、やせのしが、
 ふなもころ、おしうけて、
 いぢやさ、かた、
 せぢ、そとて、とりやせ
 又さゑく、ゑらで、
 まきちへ、ゑらで、
 とやもどろ、おしうけて、
 いぢやさ、かた

(一六一) まよりゑこのふし

一ひるしのが、ふなやれ、
 おや、おうねと、おしうけて、
 うけるかた、

せちそむて、とりやせ
又いちへき、あさが、ふなやれ

(一六二) 夫よりゑこのふじ

一 おんなしが、ふなやれ、
もつとみと、おしうけて、
おやの、かみ、たかべて、
まやゑて、うらこ、まぢへ、とりやせ
又やきしまが、ふなやれ

(一六三) 夫よりゑこのふじ

一 おゑたちの、おやのろ
おやのろと、たかべて、
うら、とよむ、とねうち、とみ、
まだちへ

又おしむきの、おやのろ
又いくさもい、ころがま、
けさ、さゑく、もどちへ

(一六四) 夫よりゑこのふじ

一 おんなしぎや、ふなやれ、
おしむきと、たかべて、
あん、まぶて、
このと、むたし、よむれ
又やきまが、ふなやれ、
おやのろと、たかべて

(一六五) 夫つまじやがふじ

一 せむういの、おやのろ、
おやのろと、たかべて、

まないどみ、とぎうけたる、きよらや
又うつつ、うらの、おやのろ、
おやのろと、たかべて

(一六六) まよりゑこのふじ

一せむらいの、おやのろ、
おや、のろと、たかべて、
あん、まぶて、
このと、見たし、よ見たれ、
又うつつ、うらの、おやのろ、
おやのろと、たかべて

(一六七) まよりゑこのふじ

一みやきせんよ、たつくも、
こがね、ぐも、たよより、

(一)モ、今歸
仁の異名と

大きみよ、
おゑちへ、こうて、さりやせ
又(二)かなひやぶよ、たつ、くも、
なむぢや、ぐも、たちより

(一六八) まよりゑこのふじ

一まませんこ、おやのろ、
おやのろと、たかべて、
あぢおそいよ、
かまへつで、みおやせ
又あけしの、おやのろ

(一六九) まよりゑこのふじ

一おきみつな、見た(二)いきよ、
見たいきよと、たかべて、

(二)モ、人名

あん、まぶて、

これど、旦那し、よ旦那

又ことなれの、旦那いきよ

(一七〇) 夫より夫このふし

一 夫ませんこ、おやのろ、

おやのろと、たかべて、

うききよらと、げらへて、

こがねつで、

夫より、かち、とりやせ

又みやきせん、おやのろ、

おやのろと、たかべて

(一七一)

一 まよし、てう、かせの、

(一)も、向て
といふ事

みやきせん、ねしやり、

かゑなで、かいなで、おこらよ

又おゑちへ、てう、かせの、

よい、みやきせん、ねしやり

(一七二) あくかへよゆとりあまやかせがふし

一 さちきや、もりぐまぐ、

ひぢやり、かた、おけ旦那へ、

あが、なさが、

ゆとり、あまやかせ

又さちきや、もりぐまぐ

よぎり、かた、うけ旦那へ

(一七三) 夫より夫このふし

一 夫ひやの、おやのろよ、

きこゑ、まねかせよ、
あん、まぶて、
此ご、旦那さまよ旦那
又だなの、おやのろよ

(一七四) 夫よりゑごのふじ

一いちゑな、おやのろよ、
旦那さまよ、かなしけが、おうね、
ごぶごりる、そやぶさる、かよ、ある、
又旦那れ、おやのろよ、
旦那さまよ、かなしけが、おうね

(一七五) 夫よりゑごのふじ

一ゑひやのしが、ふなやれ、
たかべてま、こうたれ、

おゑぢへ、こうて、
おも、やよ、そりやせ
又おし旦那の、おやのろ

(一七六) 夫よりゑごのふじ

一やかびもり、お旦那、
おやのろよ、たかべて、
あん、まぶて、
このご、旦那さまよ旦那
又あかまるよ、お旦那、
てゝのきみ、たかべて

(一七七) 旦那うち旦那へむりよるきよらやがふじ

一へどよ、お旦那、ましらて、
ましらてま、たかべて、

あん、まぶて、

此ど、^レ見たしよ^レ見れ

又おくよ、お見るましらて、

ましらてと、たかべて

(一七八) 首里あごのふし

一くよかさの、おやのろ、

おやのろと、たかべて、

かよとねて、

あぢおそいよ、みおやせ

又くよかさの、^レ見かのろ、

^レ見かのろと、たかべて

(一七九) ごまりみちへりきよがふし

一へどの、なよせりきよ、

とねうち、しちへ、

とりよる、きよらや

又こだか、ごよみ、おうね

又去より、ごよみ、おうね

(一八〇)

一おれづむが、たちよれと、

あか、あしやつかみ、あしやげ

おなりがみ、てづり、よら、

大きみよ、

またとる、こうて、とりやせ

又^レ見かなつが、たちよれと

(一八一) いきやあるかつれがふし

一おふよ^{ア、イ}ごのが、

ふな、もどろ、おしうけて、

このと、うちへの、うら、こや

又およよこのが、^二えや、もどろ

(一)モ、船の
名所

又^三おおなみやが、^{ア、イ}てこるけど、おやまで

又^三えらなみが、やかた、くち、おやまで

又およよこのが、たれ、^三き、おびおやまで

又およよこのが、たれをりほ、おやまで

(二)モ、帯

(一八三) ちつよしやがふし

一くよかさよ、お見る、

おやのろと、たかべて、

えまうち、しちへ、

あぢおそいよ、みおやせ

又やかびもり、お見る、

かねまると、たかべて

又あかまるよ、お見る、

てくの、きみ、たかべて

又あまもりよ、お見る、

ましらてと、たかべて

又おくもりよ、お見る、

たまの、きやく、たかべて

(一八三)

一かゑふたの、おやのろ、

とから、あまび、たかべて

うらこ、えちへ、

そでたれて、えりやせ

又ねのえまの、おやのろ

又のろくくと、たかべて

又かみくくと、たかべて

(一)モ、西(北)
の(こと)
(二)モ、南

校訂おもしろさうし

又(二)よしこ世と、よしなれ
又(三)とるこ世と、とるなれ

(一八四)

一かゑふたの、おやのろ、
おや、おうねよ、まぶりよ世、
まやゑて、みまぶてま、とりやせ
又ねのままの、のろく
又のろくも、まりよ世め
又かみくも、まりよ世め

(一八五) 未よりゑこのふし

一かゑふたの、おやのろ、
まごく、うらよ、かよて、
あぢおそいよ、

金つでみおやせ

又ねのままの、おやのろ、

(一八六) 未つまじやがふし

一よろん、こいしのが、
まごく、うらよ、かよて
ままかねて、
あぢおそいよ、みおやせ
又となれ、こいしのが

(一八七)

一よろん、こいしのが、
まごく、うらよ、かよて、
玉金、
あぢおそいよ、みおやせ

又ねくま、こいしのが

(一八八) むつまじやがふじ

一かゑふたの、おやのろ、

ごから、あまび、たかべて、

あん、まぶて、

此ご、むたしよむれ

又ねのままの、おやのろ

(一八九) へごのなよせりきよそねうちまぢへがふじ

一くまの、なてしのが、

なでしのが、ふなやれ、

なごなごご、

なごやけて、そりやせ

又くまの、みぢへりきよが、

(一)モ、男
(二)モ、勝り

みぢへりきよが、ふなやれ

又かみや、おなりがみ、

(三)ころと、いしゑけり

又かつおう、だけ、ごた物

ごむうだけ、ごたもの

(一九〇) まよりゑごのふじ

一ゑらぶ、世の、ぬしの、

おうねとし、まよむちへ、

ゑらぶ、まま、なちやか^{ア。}

又まなれ、世のぬしの

(一九一) 首里ゑごのふじ

一ゑらぶ、よのぬしの、

ゑらでおちやる、みぢやぶれ、

みちやぶれや、

世のぬしちよ、まちよる

又となれ、世のぬしの

又金、くら、かけて、

よむ、ごまり、おれて

(一九二) ちつましやがふし

ゑらぶ、せりよさよ、

とこき、とりそゑて、

あまへこが、まぶり、よむる、ゑそこ

又となれ、せりよさよ

(一九三) 未よりゑこのふし

一かつれんが、ふなやれ、

うけよろと、はし、未やり、

(一)モ、舟の
こと

どく、ゑらぶ、

たより、なちへ、みおやせ

又ましふりが、ふなやれ

(一九四) 未よりゑこのふし

一かつれんが、ふなやれ、

ふなやれと、みかまへ、

き、や、大みや、

ひちやち、なちへ、みおやせ

又ましふりが、ふなやれ

(一九五) ちつましやがふし

一さど中の、ころがま、

いちの、たし、まちよく、

あまへこが、

校訂おもしろさうし

まぶり、よむる、ゑそこ
 又としらもい、ころがま
 又たみな、たけ、めより
 又よしめたけ、めより
 又せりよさの、とつきとへき、
 おり、あき^{ア、け}より

(一九六) 未よりゑこのふし

一 ゑらぶ、やむ、まだけ、
 お^(二)さん、まゐる、かみく、
 あん、まぶて、
 此と、見たしよけれ
 又となれ、やむ、まだけ

(一九七)

(一)モ、遠々
とみおるし
てこ

一 ゑらぶ、おむる、みそのろ、
 みそのろと、たかべて、
 あん、まぶて、
 此と、見たしよけれ
 又となれ、おむる、みそのろ

(一九八) 未よりゑこのふし

一 ごとくやまの、なでまつ、
 おや、おうねと、まだちへ、
 ごとぶりと、いそいそと、とり(や)せ
 又よしたけの、なでまつ

(一九九) 未よりゑこのふし

一 ごとくよ、おむる、みそのろ、
 みそのろと、たかべて、

あん、まぶて、

此と、見たしよ見れ

又こくよ、お見る、^{ア、ミテ}よりそてのろ、
よそのろと、たかべて

(二〇〇) 夫より夫このふし

一よろと、いちへて、とりよれと、

たかまると、たかべて、

あん、まぶて、

此と、見たしよ見れ

又此と、いちへて、とりよれと、
けなちたけ、たかべて

(二〇一) 夫より夫このふし

一あかきなの、のろの、

夫もの、くよかねと、

あん、まぶて、

此と、見たしよ見れ

又ねのしまの、のろの

(二〇二) 夫より夫このふし

一あかきなの、もゝかみ、

おやせどべ、おくりよ見、

おやせどべ、御まへ、

^{ア、}見たきれて

又ねの夫まの、やそのろ

(二〇三) 夫より夫このふし

一きこゑ、よしもりよ、

世ほこりと、げらへて、

・ 校訂おもしろさうし

みちへ^{ア、エ}見きよま、

あおりやゑて、とりやせ

又ごよむ、中もりよ、

たなきよらと、おしうけて

又つるもいの、こらか、

おやおうね、おしうけて

又けおの、よかる、ひよ、

おやうねと(おしうけて)

又けおのきやくる、ひよ、

おやおうねの、おしうけて

又あぢおそいぎや、おためま、

いたきよらと、おしうけて

又たゝみきよが、おためま、

たなきよら、おしうけて

(二〇四) まよりゑこのふし

一なせの、まつりかみ、

あるやくせ、せりきよ、

せなと、おきて、

おゑちへ、こうて、とりやせ

又いつぶ、まつりがみ

又なせの、うらの、八さど、

ある、やくせ、せりきよ

又なせの、うらの、十さど

あるやくせ、せりきよ

(二〇五) ちつよしやがふし

一そよめきぎや、もちよる、

かみよしやが、もちよる

(一)モ、清ら
さの事

でん、まくだんか

又まごへ、かせ、ふききよれと

おるちへ、かせ、ふきよれと

又お見んだけ、ぬきや、て、

てらち、たけ、ぬきや、て、

(三〇六) まよりゑこのふし

一いゑや、大やこが、

みつけたる、小まなれ、かち、

くれて、とりよれと、

せんきみまよ、

ほがさ、おそて、まぶれ

又まなれ、大やこが

(三〇七) まけかけのかみよしやがふし

(一)ミ、神の
事

一ゑましきよが、

け下よやが、ふなやれ、

うらよみちへ、

きもちや、うらこやい

又中ぐまぐ、ままおそいや、めより

又よしたけむ、ひかたけむ、めより

(三〇八) いきやあるかつれんがふし

一まつなりぎや、

ふな、こゝろ、まらたな、

おるちへ、こうて、とりやさよ

又かみよしやが、

ふなこゝろ、まらたな、

おるちへ、こうて

(二〇九) うちいてむむくのまつらへがふし

一かさま、 亥ちや、 たりやかよ、
よ、 しま、 よせれ

又かさま、 ぬれとみやかよ

又亥ちや、 たりやか、 みおと、 ちや

又ぬれとみやか、 みおとちや

又ふな、 このみ、 亥よむちへ

又たひ、 このみ、 亥よむちへ

(二一〇) うちいてむいやくこのきくたけがふし

一よしたけよ、 おむる、

たけの、 よきかなし亥よ、

くめの、 亥ま、 かみやれ、

くめの、 めづらしやよ

又ひかたけよ、 おむる、

きこゑ、 よきかなし

又よるや、 ろよ、 つけれと、

おうちよのが、 やぐめさ

又よしたけよ、 つけれと、

よるやちか、 やぐめさ

又亥らよねよ、 つけれと、

世よ中よ、 つけれ

又たりろ、 からきゝゑと、

けよろ、 から、 きゝゑと

又くめの、 亥ま、 そうれと、

かねの亥ま、 そうれを

又かなふくよ、 おむる、

ぐしかむよ、 おむる

又きこゑ、 あんじおそいぎや、

校訂おもしろさうし

とよむ、あんどおそいぎや

又うらかない、よせて、

とつかない、よせて

又おうね、とくてうむ、

みおうね、とくてうむ、

又(二)みや、とよみ、つけて、

いみや、まさり、つけて

(三一一) ちつよしやがふし

一 いくらどの、ころがま、

いちの、たし、まちよく、

あかころか、ともどの、つるき

又さふらどの、ころがま、

いちの、たし、まちよく、

あかころか、ともどの、つるき

(二)モ、今と
いふ事

(二)モ、人名

又このと、まこたけよ、

あむの、きみ、なるし、

まよりの、めづらしや、

又大と、まこたけよ

又ひやもさ、くさき、まむる

(三一二) こむせりきよやりほしやがふし

一大みつの、みてもい、

おゑちへ、こうて、とりやせ

又ふるさどの、みてもい

又みてもいぎや、おひ、たび

又みてもいが、あら、たび

又よさけ、もり、ところ

又よみき、もり、ところ

又ともからと、さそて

又ちおとちやと、さそて

(二一三) 夫よりゑごのふし

一 ゑらぶ、むせひよもへ、

くれる、てや、なちやな、

いみやこ、より、

めつらこゑ、やらよ

又たび、たつ、あんや

又なつたるし、やれと、

また、からむ、さむらん

又つじやの、たまやれと、

くびからむ、さむらん

(二一四) かうちをつなりがふし

一 きこゑ、きみがなしかよ、

くよ、まさり、おやのろ、

ゑげよ、まま、からと、

めづらしや、ある

又ごよむ、きみがなしかよ

又あさどれが、まよれと

ようどれが、まよれと

又いたきよらと、おしうけて

又たなきよらと、おしうけて

(二一五) かうちをつなりがふし

一 きこゑ、きみがなしかよ

やちよくだ、まちよふさの、

よりあふ、まま、さちへ、おむちへ

又ごよむ、きみがなしかよ

又あさどれが、まよれと

又ようどれが、まよれと
又いたきよらと、おしうけて
又たなきよらと、おしうけて

(二一六) ごまりみちへりきよがふじ

一きま、大やこ、
いちき、大やこ、
あくかべよ、よとり、あまやかせ
又ふつき、まめ、あらしよ
又とつき、まめ、あらしよ
又あんじおそいが、おやおうね、
おもいぐいの、おや、おうね
又あめく、のろ、たかべて、
又おや、のろと、たかべて
又いちへて、て、まられ、

とりより、て、まられ、
又ごまり、まらねども、
くちや、まらね、ども

(二一七) おきな世のいよのふじ

一おぎやか、あんじとるや、
ままよせが、ふれまへと、みもん
又とたみ、いくさこか
又御さけ、ほしや、あらま、
おうね、よりそいよ
又まげち、ほしや、あらま、
おうね、よりそいよ

(二一八) まつよしやがふじ

一うふたまよ、おむる、

きこゑ、お目もりや、
くめみきや、お目ちへ
又そこよや、たけ、お目る
又これる、これ、くめと
又これ、これ、おへこもり

(二一九) あきみよのふじ

一 かけめなの、しほの、
おしあい、なみたてと、
なお、みちへが、なよる、
きみ、みちへと、なよれ
又おしあい、なみ、たてと、
よりあい、なみたてと

(二二〇) せうなりがふなやれのふじ

一 あがおなり、みかみの、
まぶら、てゝ、お目ちやむ、やれ、ゑけ
又おと、おなり、みかみの
又あや、とべる、なりよ目ちへ
又くせ、とべる、なりよ目ちへ

(二二二) いきやるかつれんがふじ

一 あおりやへや、
いくさ、いちへき、ちよ目れ、
さをかさと、
目きかち、とて、とりやせ
又あおりやへや、
あいつまき、ちよ目れ、
さすかさ

(二二三) むつよしやがふし

一 おくど、まう、およせし、
 つゝか、うゑつかい、
 あんまぶて、
 このど、むたしよむれ
 又 どなか、まう、およせし、
 せひか、うゑつかい

(二二三) もろよるふなさきのふし

一 ゆらふさか、
 けおの、おれの、さうしや、
 なさいきよもい、
 みおも、かげ、たちちへ
 又 きどかさよ、

けさ、げらへ、ありより

又 くよかさよ、

ゑん、げらへ、ありより

又 むかのろが、

けおの、おれの、さうしや

又 きちよかさよ、

うち人、もちなし、

なさいきよもい

(二二四) 未よりゑこのふし

一 くめのしま、あつる、
 つしや、こがね、むたちへ、
 こしよむ^{スリ}もり、のぼせて、
 あちおそいよ、みおやせ
 又 かねのしま、あつる

(二二五) うちいちへむうらたへがふし

一 いやや、あか、なさいきよ、
うらの、なりごよみ、
よりかさが、ほこて
又 いや、大なさいきよ

(二二六) いちやむなおもろのふし

一 や^アどの、みちへりきよが、
いちへて、げよ、そりよる、
むがうらの、めづらしや、
とおく、そりやせ
又 へどの、なよせりきよ
又 つほよ、けさどのよ

(二二七) あけしのがふし

一 かみがなし、

かみきら、ゑかき、
どり、まやう、まま、
そちへ、おむちへ
又 のろがなし、のろよしや
又 あさどれが、まよれと
又 ようどれが、まよれと
又 いたきよらと、おしうけて
又 たなきよらと、おしうけて

(二二八) あけしのがふし

一 きこゑ、あけしのが、
たまちどり、おゑたて、
おへくど、おゑたて、
むがうらの、うらそりぎや、みもん

又とよむ、あけしのが
 又あさどれが、まよれと
 又ようどれが、まよれと
 又ふなこ、ゑらで、のせむちへ
 又てかり、ゑらで、のせむちへ

(三二九) あけしのがふじ

一きこゑ、あけしのが、
 かみまも、とよむ、
 みや、あしやげ、げらへて
 又とよむあけしのが

(三三〇) あけしのがふじ

一きこゑ、あけしのが、
 あけもどろ、やもそろとも、

(一)ア、御日の事

(二)モ、來月の事

むきやけ、おきなむよ、つかい
 又とよむ、あけしのが、
 又あさどれが、まよれと
 又ようどれが、まよれと
 又いたきよらと、おしうけて
 又たなきよらと、おしうけて
 又ふなこ、ゑらで、のせむちへ
 又てかり、ゑらで、のせむちへ

(三三一) あけしのがふじ

一きこへ、せち、あらしきみ、
 だしま、とよむ、
 おもかた、あがて、おむちへ、
 なさいきよ、いきやて、みよむちへ
 又とよむ、せち、あらしきみ

(三)モ、來月の事

校訂おもしろさうし

又^(三)あける、月せと、まやり
又^(三)なおり、月せと、まやり

(二二三二) むつましやがふし

一あがるいの、大ぬし、
ちうらの、えなの、さきよれと、
あれ、みれよ、きよら、きみ
又てだが、あなの、大ぬし

(二二三三) むつましやがふし

一あがるいの、大ぬし、
大ぬしが、み御まへよ、
こがねまへ、おろちへ、
ままそろて、
あちおそいよ、みおやせ

又てだが、あなの、大ぬし

(二二三四) むつましやがふし

一あがるいの、大ぬし、
きこへ、くよせりきよ、
いろまさりまで、
もちたゝみ
又てだが、あなの大ぬし

(二二三五) むつましやがふし

一あがるいの、大ぬし、
あやの、天どらちへ、
やゝの、やくせ、ほてらちへ
あんじおそいが、御まへ、かち
又きこゑ、くよせりきよが

校訂おもしろさうじ

(二三六) もつまじやがふじ

一あがるいの、大ぬし、
大ぬしが、御まへよ、
くまぶ、げと、おへて、おちへ、
おれづむ、またな、
いな、とつとな、さちやる

大正十四年九月廿七日印刷
大正十四年九月三十日發行

校訂おもしろさうじ卷二
初版六百部印刷

校訂者 伊波普猷

發行者 南島談話會

右代表者 東京市小石川區茗荷谷町五十二番地
岡村千秋

印刷者 東京市本郷區駒込林町百七十二番地
柴山則常

發賣所

郷土研究社

東京市小石川區茗荷谷町五十二番地

振替口座東京三三九一七番

東京市本郷區駒込林町百七十二番地 柴山則常印刷

337
31

終